

いざ「札幌らくめん共和国」へ

「遠軽」と「らや食堂」のれん分け「参戦」

【遠軽】遠軽ラーメン、

札幌進出。網走管内遠

軽町の老舗ラーメン店

「とらや食堂」＝早川芳

弘さん(七四)経営の札幌

店が七月七日、JR札幌

駅南口エスタ十階にある

道内人気ラーメン店八店

が集まるフードテーマパ

ーク「札幌らくめん共和

国」に仲間入りする。

共和国は昨年オープン

した札幌の新名所。とら

や札幌店は、飲食店開業

をサポートする「エフビ

ーエス」(札幌)がのれ

んを借りて経営する。

とらやは早川さんの祖

父が上湧別町で開業、そ

の後遠軽に移った。ラー

メンは一九三七年(昭和

十二年)、祖父と父が隣

に住んでいた中国人料理

人から教わり、その味を

早川さんと妻智恵子さん

が守ってきた。自家製ち

ぢれめん、あっさり味の

スープ、自家製メンマな

ど中華そばの原型を伝え

るラーメンだ。店は、早

川さんが持病の腰痛を悪

化させて入院し、今年三

月から休業している。

エフビーエスは今年一

月から早川さんに札幌出

店を打診。早川さんは入

とらや食堂の早川芳弘さん(中央)と智恵子
さん(左)。札幌店長となる藤沢さん



院を機にのれん分けを承

諾した。今月二十三日か

ら、札幌店長となるエフ

ビーエスの料理人藤沢浩

二さん(四二)が店で智恵子

さんに味を学びながら試

作品を常連客らに提供し

ている。とらや独特のめ

んは、製めん業大手の西

山製麺(札幌)が再現に取

り組み、十数回もの試作

を重ねてきた。

藤沢さんは「遠軽と同

じ味を、札幌に訪れる全

国の人に提供します」と

きっぱり。早川さん夫婦

は「素晴らしい後継者が

できてうれしい」と頼も

しい「四代目」に目を細め

る。遠軽本店は「腰が治っ

たら再開する」(早川さ

ん)という。(大倉玄嗣)